

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2016年10月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第6回仙台国際音楽コンクール 【開催日程】ヴァイオリン部門:2016.5.21(土)~6.5(日) ピアノ部門:2016.6.11(土)~6.26(日)

第6回仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者 チャン・ユジンさん インタビュー



—第1位に輝いた感想を聞かせてください。

1位になれるとはまったく思っていなかったもので、とても驚いています。とにかくオーケストラと一緒に3ラウンドを演奏したいという気持ちだけでここまで来ましたので、その上によい結果をいただいてとても幸せな気持ちです。人生最良の時を迎えているような気がします。

—ファイナルでストラヴィンスキーを選んだ理由は?

このコンチェルトは以前からずっと弾いてみたいと思っていましたが、チャンスに恵まれませんでした。仙台のコンクールではオーケストラと共演できますし、素晴らしいチャンスなので選びました。

—今回は、シューマンなどもすべて初めてと伺いましたが、

そうです。バルトークの無伴奏ソナタもです。メンデルスゾーンもなぜかいつも避けていました。今回が初めてとなり、私にとってとても意味のある大切な機会となりました。

—ストラヴィンスキーの協奏曲はどのような作品でしょうか。

この作品は、アミューズメント・パークのようなものだとイメージしています。たくさんのキャラクターがとても早く入れ替わりながら展開していきます。めまぐるしくて、その点で難しいと感じられるかもしれませんが、同じコードやモチーフの繰り返しが多く、実際はとてもまとまりがある作品だと思っています。

—シューマンの協奏曲は?

真に偉大な作品です。弾く度にとても特別なものを感じました。技術的にはとても難しいですが、音楽は正真正銘の傑作で、もっと多くの方に頻りに演奏してほしい作品です。私は特に第2楽章が大好きで、シューマン自身が、天使が彼に囁きかけた旋律と語っていたようですが、私も本当にこの世のものではなく、何か天上の音楽のように感じます。弾けば弾くほど異なる美しさを発見できる作品ですので、今回演奏する機会を持って幸せでした。是非また演奏したいです。

—コンクールを通して自分の出来には満足いききましたか?

難しいところですね(笑)。常によりよいものがあるはずなので、決して満足することはありません。ただ、以前は完璧さというものを求めていましたが、段々と年齢を重ねてきた今では、聴衆やオーケストラのメンバー、指揮者とコミュニケーションを取ること、また作曲家の意図するところを知ろうと試み、自分が伝えたいことを表現していくことが重要だと考えるようになりました。その意味ではとても満足しています。

—第4回で優勝されたクララ=ジュミ・カンさんと同じく、韓国ヴァイオリン界で著名な教育者であるキム・ナムユン先生に習っていますね。

9歳の時から10年間師事しました。素晴らしい教師でメンターです。最初に韓国芸術総合学校で行っている幼児と子供たちのための予備学校のオーディションに応募し、そこでナムユン先生に教わることになりました。クララ=ジュミとは同じクラスで勉強したよい友人です。

—現在はニュー・イングランド音楽院(NEC)でミリアム・フリード先生につかれています。

ミリアム先生はご自身も優れた音楽家であり、とても気遣いのある先生ですので、素晴らしい経験をしています。12歳の時にメニューイン・コンクールに出場した時の審査員で、そこでお目にかかったのをきっかけに、その後も韓国で何度かお会いする機会がありました。私が直接知っている唯一の先生でしたので、地元の大学を卒業した後、ごく自然にNECで学ぶようになりました。今は博士号を取ろうと勉強しています。読書や楽曲分析の毎日、作曲家の語っている内容やその音楽言語について深く研究するようになりました。

—今回使われた楽器は?

1771~72年頃にトリノで製作されたJ.B.グアダニーニです。去年の6月頃から使い始めました。韓国でポピュラーな音楽雑誌『ケクソク(客席)』のオーナーが購入され、ご親切に私に貸与してくださったものです。

—一回の出場者に向けてアドバイスをお願いします。

楽しむことですね。コンクールは誰にでもストレスなものではありませんが、仙台では周りの環境が素晴らしいですから楽しんで演奏できると思います。私は指揮者やオーケストラのメンバーひとりひとりに感謝の気持ちを伝えたいと思います。私たち出場者全員にとっても辛抱強く接していただき、いつも笑顔を決して絶やさずにフレキシブルにサポートしてくださいました。本当に一緒にできてよかったです。次の出場者たちもこの素晴らしさをエンジョイしてほしいですね。

取材:松本 學(音楽評論家)



■お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: http://www.simc.jp/